

パックスケール

TSU30A

取扱説明書



株式会社 **サスケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。
安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がけがを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
 - 本製品の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- いつでも調べられるように、この取扱説明書を本製品の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「**緊急時の連絡先**」に問い合わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したりしても、販売元・製造元および販売店・JAは一切その責任を負いません。

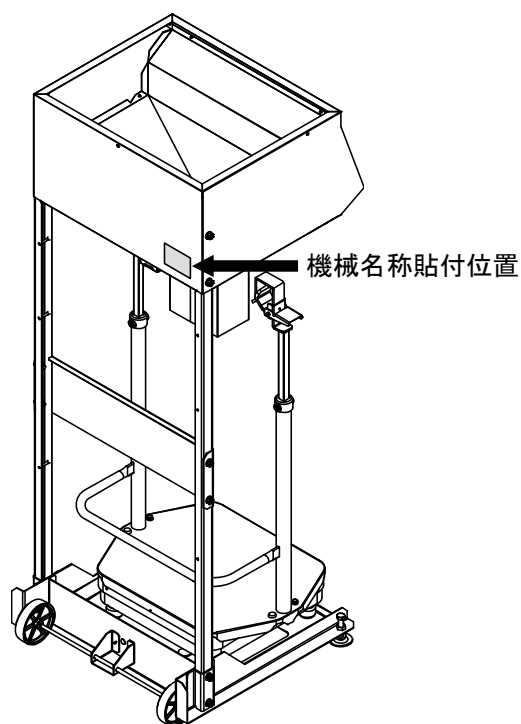
1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

本製品の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。

そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。

したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・ＪＡまたは、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
3. この取扱説明書において、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはＪＡまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も併せてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。

正常なご使用状態において故障した場合には、納入日より1年間無料で修理いたします。

＜保証事項＞

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはJAに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、**次の場合は有料修理になります。**
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・JAまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

＜免責事項＞

1. 上記(1)から(7)の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはJA、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはJAにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

	ページ
安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv
ご使用のまえに	
安全上の注意事項	1
使用上の注意事項	3
標示ラベルについて	4
各部のなまえ	6
表示箇所・操作箇所	7
機械の組立	11
機械の据付	12
運転のしかた	
計量の設定	13
運転操作（計量のしかた）	16
お手入れと保管	
保管	19
点検・調整	
調整（スパン調整）	21
困ったとき	
困ったときの対処のしかた	25
その他	
オプション部品	27
仕様	28
機体寸法	29
保証とアフターサービス	30
緊急時の連絡先	巻末

ご使用のまえに

運転のしかた

お手入れと保管

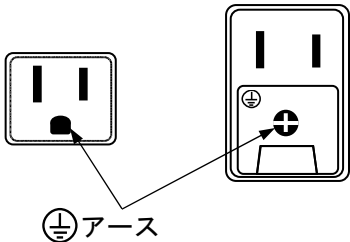
点検・調整

困ったとき

その他

安全上の注意事項



ビニール袋の処分	● 梱包を開梱した後は、機械をおおっているビニール袋で子供が遊ばないように、手の届かない場所に置るか処分してください。
子供を近づけない	● 作業場に、作業に関係ない人は入れないようにしてください。特に子供を遊ばせないように注意してください。
作業に適した服装の着用	● 長い頭髮は束ね、作業に適した袖口のしまった服および底のすべらない靴で作業をしてください。 ● 首や肩にタオルを掛けて作業しないでください。
機械の接地（アース） 	● 漏電による感電や火災防止のため、必ず接地（アース）をしてください。接地（アース）工事については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
漏電ブレーカの設置	● 漏電事故防止のため、元電源に必ず漏電ブレーカを設置してください。 設置については、電気工事店に依頼してください。
運転開始前に周囲の確認	● 電源コードなどにつまつかないように、機械周辺の整理整頓をしてください。 ● 運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。2人以上で作業するときは、お互いに合図を交わしながら行ってください。 ● 機械の上に工具などの物を置いて機械を作動させないでください。
通電部分に触れない	● 元電源を入れた後は、指示計内部などの通電部分には、絶対に触れないでください。

！ 警 告

可動部に触れない

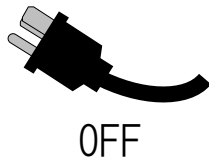
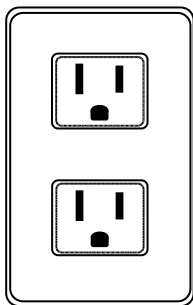


- 運転中は、機械の可動部に触れないでください。

運転中は点検をしない

- 運転中は、特に指示する箇所以外は機械の点検および調整を行わないでください。

**掃除・点検・停電時は
電源コネクタを抜く**



- 各部の掃除、点検や異常・故障時の処置をする場合は、[電源ボタン] を長押しし、電源コネクタを抜いて機械が完全に停止している状態で行ってください。

無理な作業はしない

- 疲労を感じたら無理に作業を続けず、休憩をしてください。

使用上の注意事項

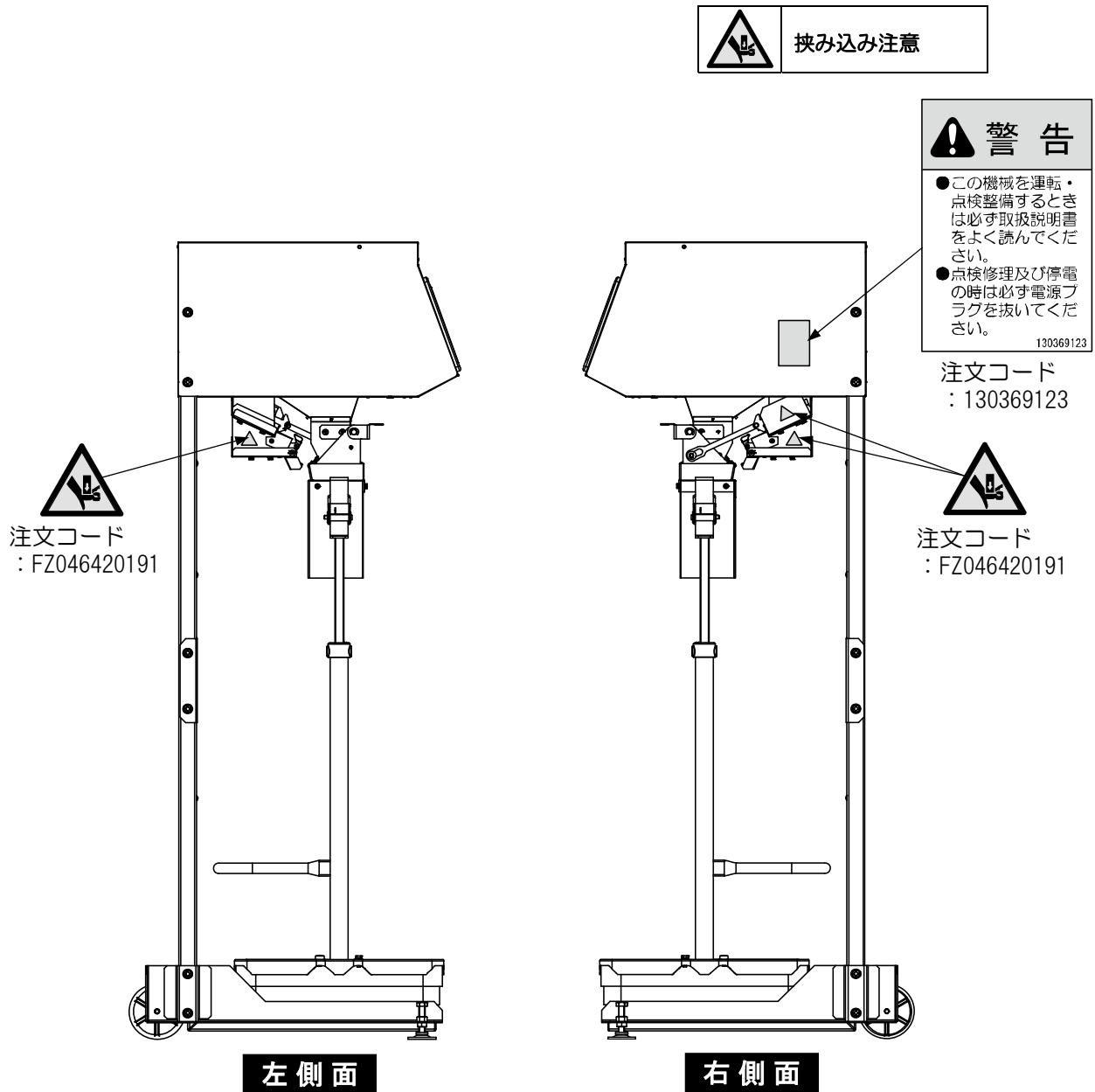
据付場所	● 機械の据付場所は、水平でコンクリート等の固い地面に据え付けてください。水平でないと計量誤差の原因になります。 ● 機械周辺の作業通路を確保してください。 壁から 50 cm 以上離して据え付けてください。
雷が鳴ったら電源コネクタを抜く	● 落雷のおそれがあるときは、機械保護のため運転を中止し、電源コネクタを抜いてください。
タコ足配線をしない	● コードリールの使用やタコ足配線はしないでください。電圧降下による計量誤差の原因となります。
計量器に重量物を載せない	● 計量器の上に人や重量物を載せると故障の原因になります。 体重計などに使用しないでください。
水を掛けない	● 機械には水を掛けないでください。 水が掛かると電気回路がショートし、機械が故障または損傷するおそれがあります。
各操作部はていねいに操作する	● 操作部を乱暴に操作すると、誤動作および故障の原因になりますので、ていねいに操作してください。
機械の運転状態を監視する	● 運転中は、機械の運転状態を監視してください。 異常を感じた場合は、作業を中止し機械の点検を行ってください。
揮発性の高い薬品の使用禁止	● 本機周辺で揮発性の高い薬品を使用・保管しないでください。機械が故障するおそれがあります。
保管時のネズミ侵入対策	● 機械の保管場所は乾燥した平らな所を選び、機械内にネズミが侵入しないように注意してください。

標示ラベルについて

本製品には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。
これらの正確な位置および危険防止の内容をよく確認のうえ、理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図 1 および図 2 を参照してください。



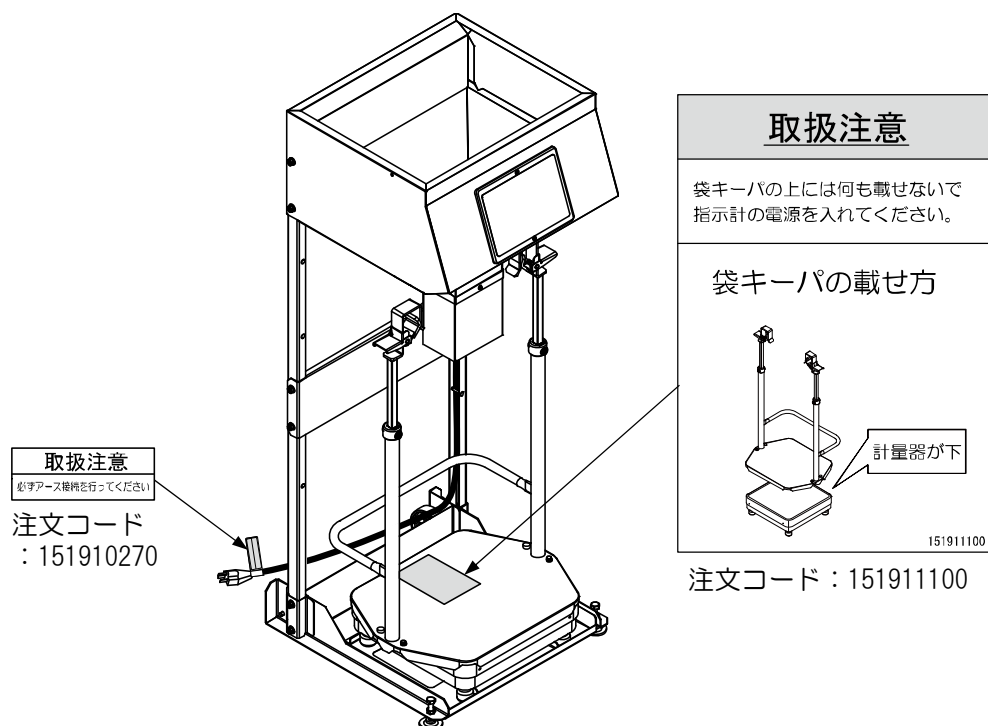


図 2 標示ラベル貼付位置 (2)

2. 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
汚れなどで文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルを購入して貼り替えてください。
問い合わせ先は、巻末の「**緊急時の連絡先**」を参照してください。

各部のなまえ

1. 機械の構成

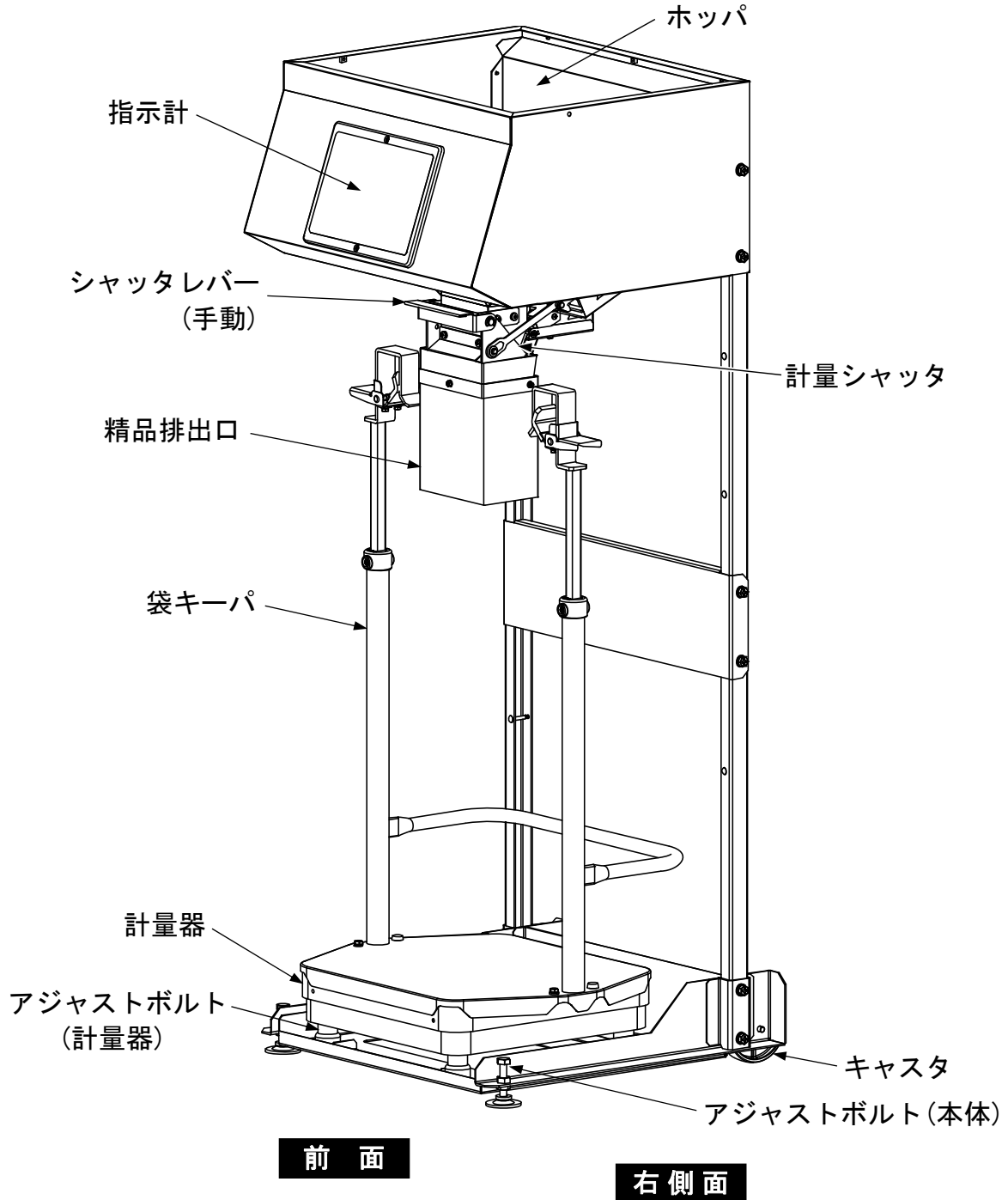


図 3 機械全体図

表示箇所・操作箇所

1. 操作箇所の説明



● 本書をよく読み、理解するまでは機械を作動させないでください。

- 操作については、13～18ページを参照してください。

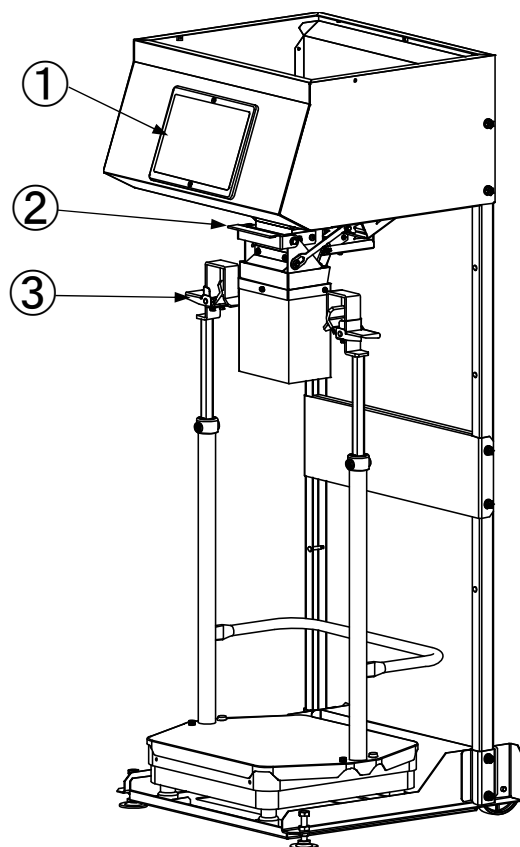


図 4 表示部・操作部

表 1 表示部・操作部の名称と機能一覧表

番号	名 称	機 能
①	指示計	計量値の表示や設定値の変更を行います。
②	シャッターレバー	手動で計量シャッターを開く際に使用します。
③	レバー	袋キーパから袋を取り外す際に使用します。

2. 指示計表示部の説明

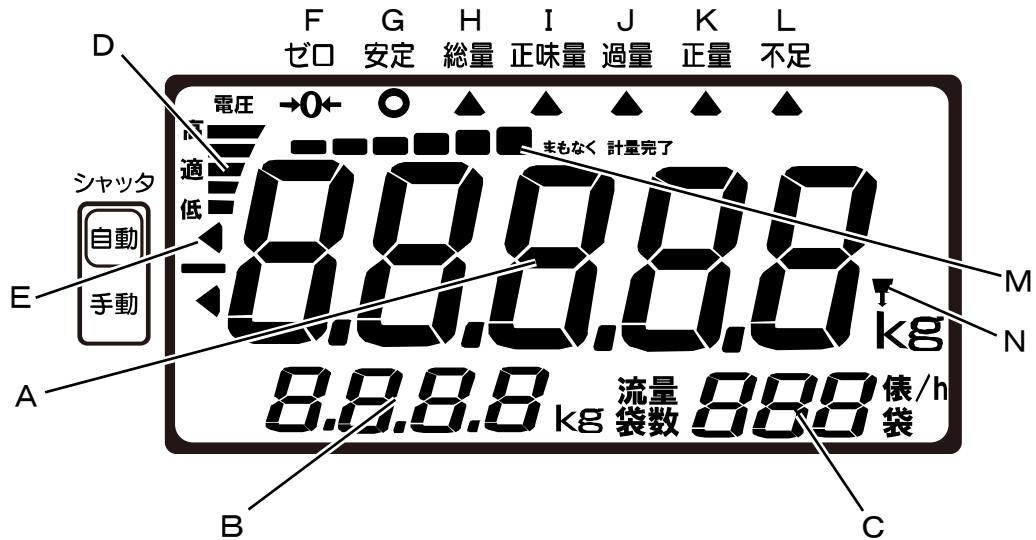


表 2 指示計表示部の説明

番号	名 称	機 能
A	計量値	現在の計量値 (kg) を表示します。 0.02 kg (20g) 間隔で計量値を表示します。
B	自動計量設定値	現在設定している自動計量の設定値を表示します。 自動計量設定値は電源コネクタを抜いても記憶しています。
C	流量・袋数	現在の流量と計量が完了した袋数が5秒ごとに交互に表示されます。
D	電圧	電源電圧の状態を表示します。
E	計量シャッタ	計量シャッタの設定状態 (自動または手動) を表示します。
F	ゼロ状態	計量器がゼロ状態のとき [→0←] を表示します。
G	安定状態	計量器が安定状態のとき [○] を表示します。
H	総量	計量値が総量のとき (風袋引きをしていないとき) [▲] を表示します。
I	正味量	計量値が正味量のとき (風袋引きをしているとき) [▲] を表示します。
J	過量	計量完了時、計量値が計量設定値を超えていると [▲ (赤)] を表示します。
K	正量	計量完了時、計量値が計量設定値どおりのとき [▲] を表示します。
L	不足	計量完了時、計量値が計量設定値より少ないとき [▲ (赤)] を表示します。
M	計量インジケータ	計量設定値に対する現在の計量の進捗をインジケータ (6 分割) で表示します。
N	計量中マーク	計量中は [▼] を表示します。(シャッタが自動のときのみ)

3. 指示計ボックスの操作部(各ボタン)の説明

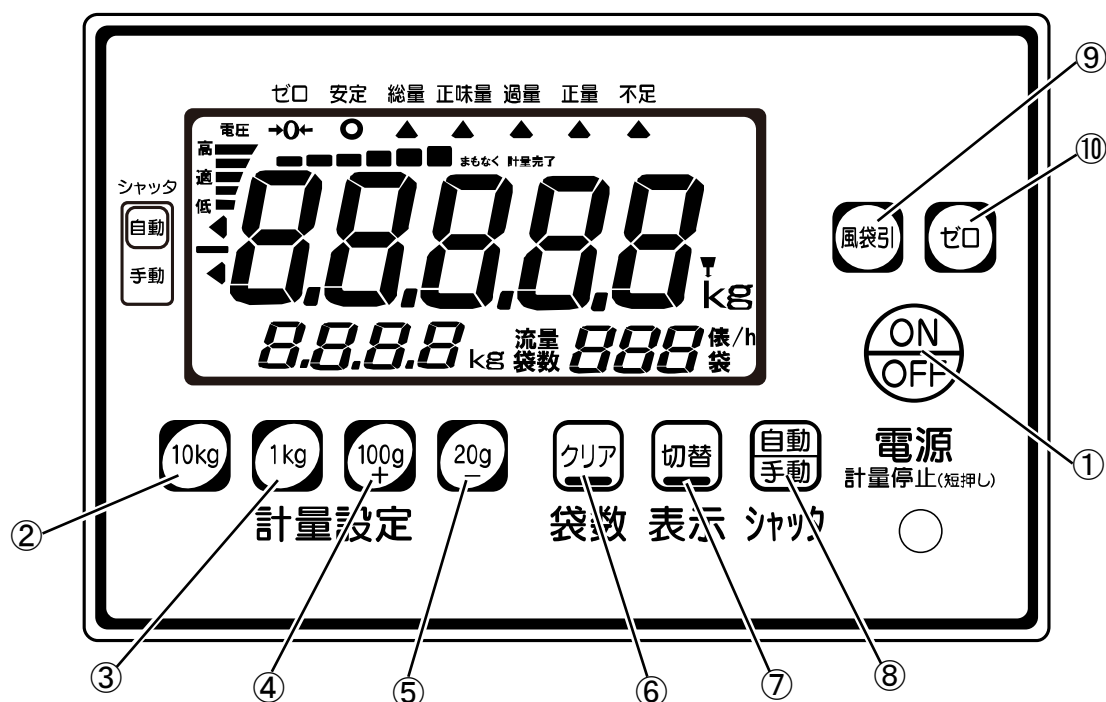
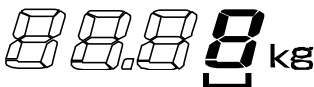
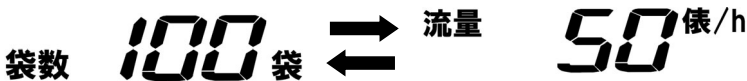


表 3 指示計ボックスの操作部(各ボタン)の説明

番号	名 称	機 能
①	電源ボタン	短押し：電源 [ON] 長押し：電源 [OFF] 電源[ON]の状態、短押しすると計量を強制的に中断します。 (計量シャッタが閉じます) ※電源 [ON] 時、20 kg までの重量物が計量器の上に載っていても計量値が 0 kg となります。
②	計量設定ボタン [10 kg]	自動計量設定値を 10 kg 単位で変更する際に使用します。 1 回押すごとに 0→1→2→3→0 と変化します。 
③	計量設定ボタン [1 kg]	自動計量設定値を 1 kg 単位で変更する際に使用します。 1 回押すごとに 0→1→...→8→9→0 と変化します。 
④	計量設定ボタン [100 g]	自動計量設定値を 100g 単位で変更する際に使用します。 1 回押すごとに 0→1→...→8→9→0 と変化します。 

番号	名 称	機 能
⑤	計量設定ボタン [20 g]	自動計量設定値を 20 g 単位で変更する際に使用します。 1 回押すごとに 0→2→4→6→8→0 と変化します。 
⑥	袋数クリアボタン	累積の袋数を 0 袋にリセットする際に使用します。 長押しすると累計の袋数をリセットします。 
⑦	表示切替ボタン	袋数と流量の表示を切り替える際に使用します。 ボタン押す度に切り替わります。  ※ 袋数と流量は 5 秒ごとに交互に表示されます。
⑧	計量シャッタ 自動/手動切替ボタン	計量シャッタの設定（自動または手動）を変更する際に使用します。 ボタン押す度に切り替わります。
⑨	風袋引ボタン	正味量で計量する際に使用します。 セットした風袋（袋）の重量を引きます。表示が正味量に切り替わります。 ※ 風袋引可能範囲：風袋重量を含めて最大ひょう量まで
⑩	ゼロ点調整ボタン	計量値の表示をゼロ（0）に合わせる際に使用します。 袋をセットしていない状態で使用してください。 ※ ゼロ点調整可能範囲：-5 kg～5 kg まで

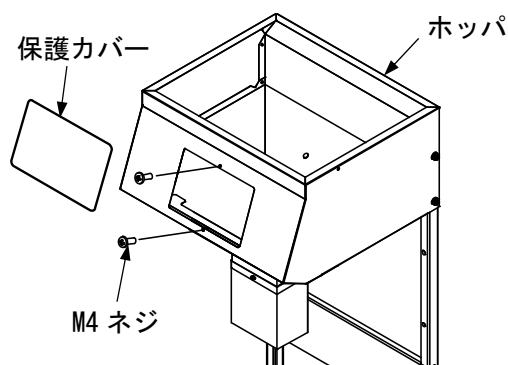
機械の組立



警告

● 組立作業は電源コネクタを抜いてから作業を行ってください。

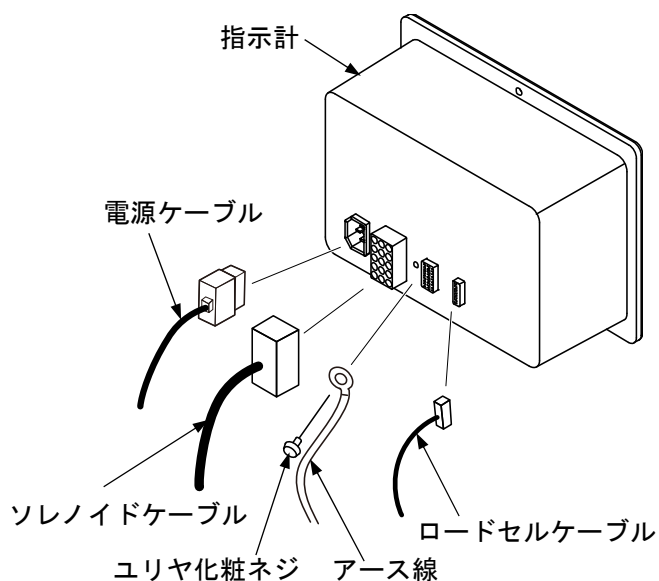
1. 指示計の取付



1) ホッパに貼り付けてある保護カバー（段ボール）を取り外します。

● 外した保護カバーは廃棄してください。

2) ホッパの前面についている M4 ネジ（2 本）を取り外します。



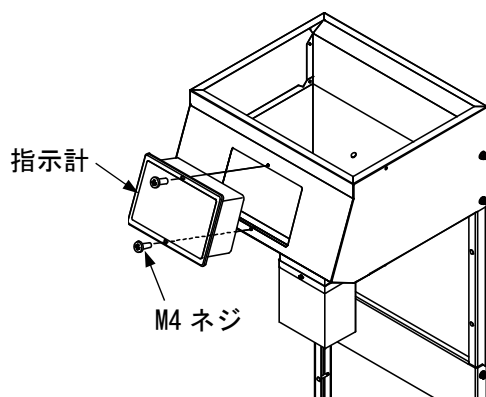
3) 指示計に電源ケーブル、ソレノイドケーブル、アース線、ロードセルケーブルを接続します。

● 各ケーブルはホッパ内に格納してあります。

● コネクタは確実に差し込んでください。

● アース線はユリヤ化粧ネジでしっかりと締め付けてください。

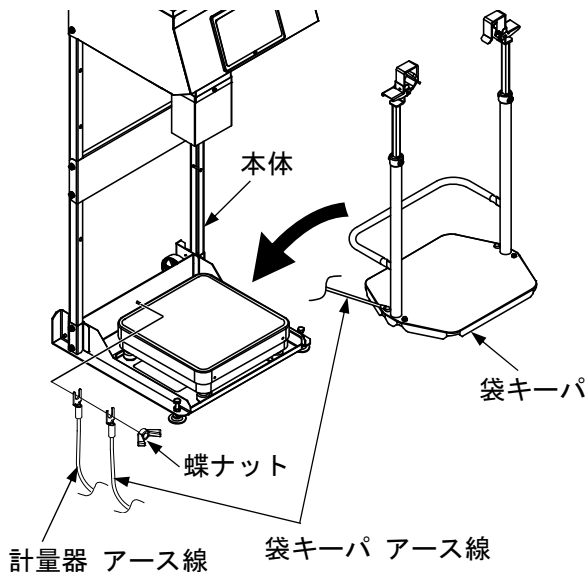
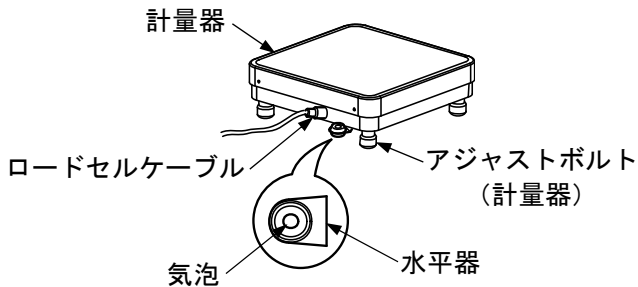
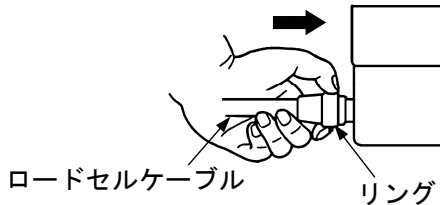
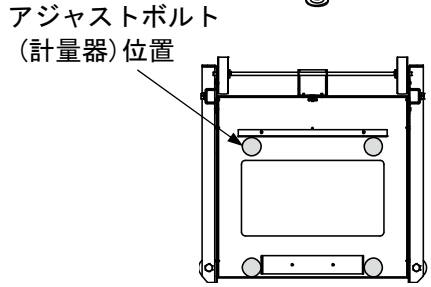
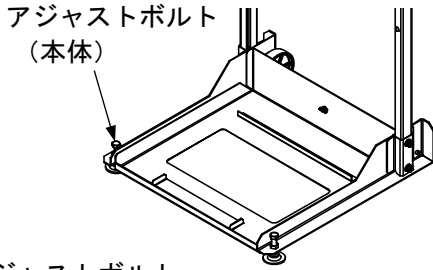
● 指示計の「LED」のコネクタは接続するケーブルはありません。



4) 指示計をホッパに差し込みます。

5) 2)で取り外した M4 ネジ（2 本）で指示計を固定します。

機械の据付



1) 機械が揺れないようにアジャストボルト（本体）で調整します。

- 機械は平らで固い地面に据え付けてください。

2) 計量器を本体の上に載せます。

- 計量器を載せる位置は左図を参照してください。

3) ロードセルケーブルを計量器へ確実に差し込みます。

- 外側のリングを手前に引きながら計量器に差し込みます。

4) 計量器の水平を調整します。

- 水平器の気泡が中央になるようアジャストボルト（計量器）を回して調整してください。

5) 計量器に袋キーパを載せます。

6) 計量器と袋キーパのアース線を本体に接続します。

- 蝶ナットで確実に締め込んでください。

取扱注意

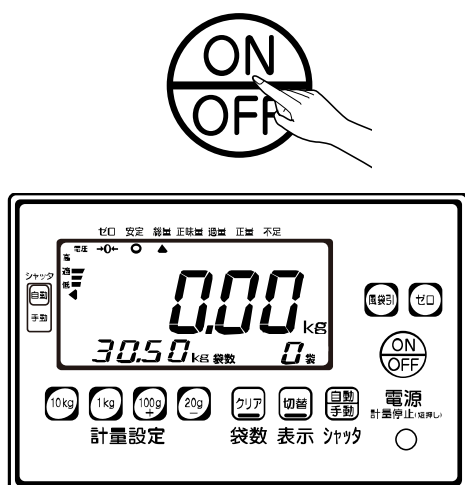
- 袋キーパは必ず計量器の上に載せてください。
- 計量器と袋キーパのアース線は必ず接続してください。
- 袋キーパや計量器が本体と接触しないようにしてください。

計量の設定

1. 自動計量設定値の設定方法

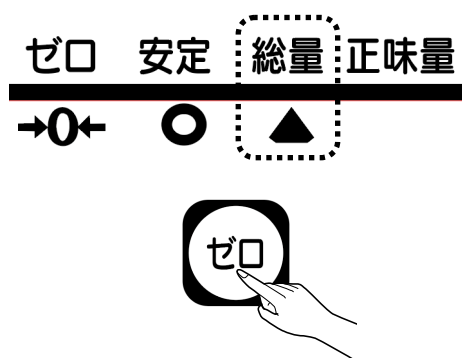
自動計量する重量の設定を行います。【総量（皆掛重量）】で計量するか、【正味量】で計量するかによって、自動計量設定値の設定方法が異なります。

(1) 自動計量を【総量（皆掛重量）】で行う場合



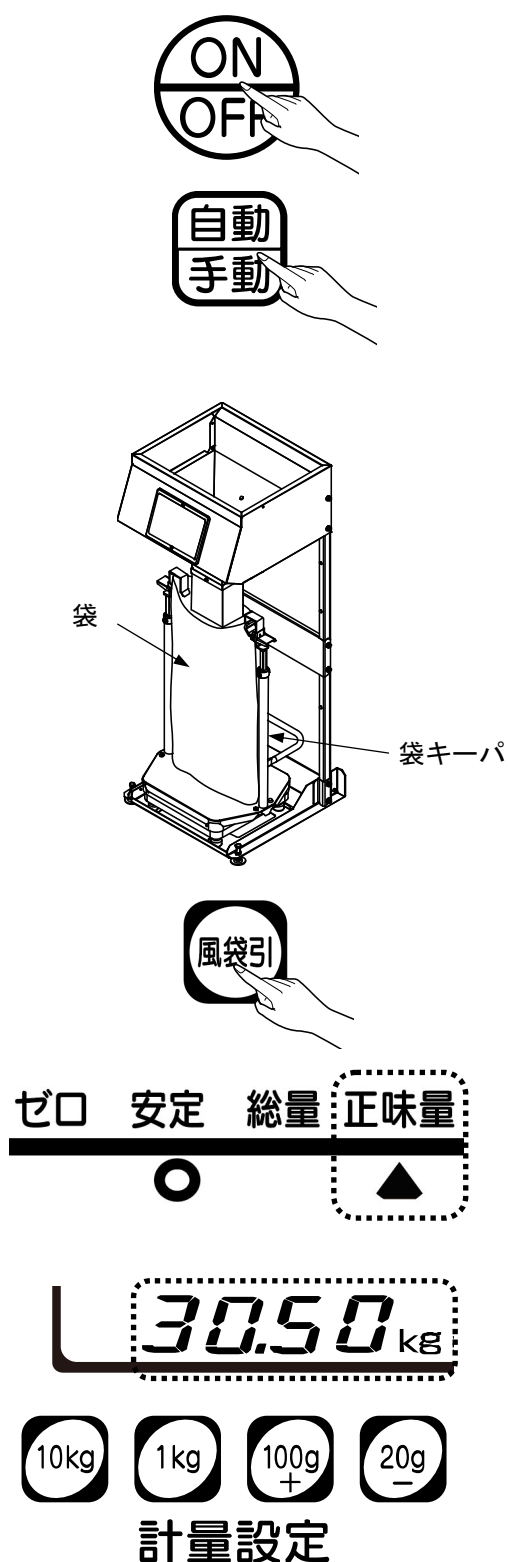
- 1) 電源コネクタを接続します。
- 2) 指示計の「電源ボタン」を押し、電源 ON にします。
- 3) 計量設定値は、計量器に載る「総量（皆掛重量）」を設定します。

総量（皆掛重量）
＝ 袋の重量 ＋ 計量対象物(※1)
の正味重量
※1 計量対象物：玄米または麦類



- 指示計の「総量」下に「▲」が表示されていることを確認します。
- 「総量」下に「▲」が表示されていない場合、[ゼロ点調整ボタン]を短押ししてください。
- [10kg] [1kg] [100g] [20g] の計量設定ボタンを押すと対応した計量設定値の数字が変化します。

(2) 自動計量を【正味量（風袋引をした状態）】で行う場合（参考）



1) 指示計の「電源ボタン」を押し、電源 ON にします。

2) 「計量シャッタ自動/手動切替ボタン」を押して、計量シャッタの設定を「手動」に変更します。

- 正味量で計量する場合、シャッタの設定が「自動」になっていても、計量シャッタは自動で開きません。

3) 袋キーパに袋をセットします。

4) 「風袋引ボタン」を押します。

- 計量値が「0.0 kg」になります。
- 指示計の「正味量」下に「▲」が表示されていることを確認します。

5) 計量設定値は、「正味量（袋内の計量対象物の重量）」を設定します。

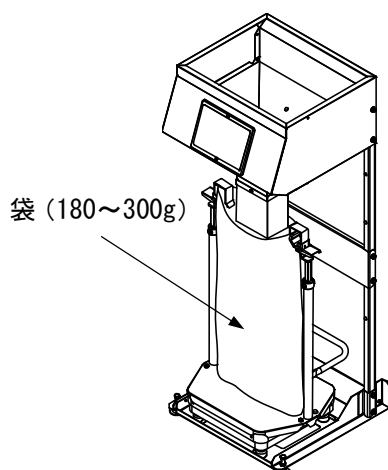
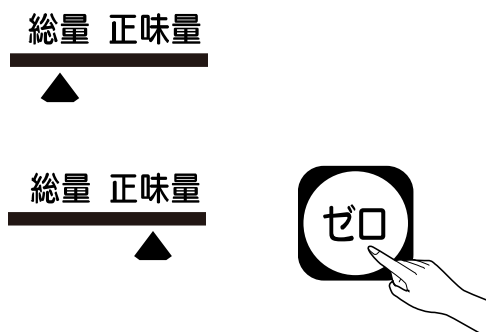
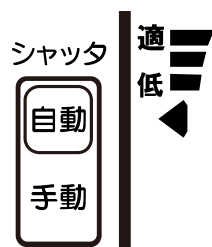
- [10kg] [1kg] [100g] [20g] の計量設定ボタンを押すと対応した計量設定値の数字が変化します。

取扱注意

- 自動計量の設定可能範囲は、5～35 kg です。自動計量範囲以外の設定では設定値になっても自動的に計量シャッタが閉じません。

2. 計量シャッタが自動で開く条件

本機は袋キーパに袋をセットした際に、以下の条件をすべて満たす場合、計量シャッタが自動で開き、計量が始まります。一つでも満たさない場合、計量シャッタは自動で開かないため注意してください。



条件①

計量シャッタの設定が、「自動」になっていること。

「手動」になっている場合

〔計量シャッタ自動/手動切替ボタン〕を押して「自動」に切り替えてください。

条件②

自動計量を【総量】で行うこと。

「正味量」になっている場合

袋キーパからセットした袋を外して、〔ゼロ点調整ボタン〕を押し、計量方法を「総量」に変更してください。
(13ページ参照)

条件③

セットする袋の重量が180~300gであること。

条件①~③を満たした状態で、計量値が安定（1秒以上、計量値が変動しない）すると、自動で計量シャッタが開きます。

運転操作（計量のしかた）

1. 計量作業のしかた



1) 指示計の〔電源ボタン〕を押し、電源 ON にします。

- 電源 OFF 状態で〔電源ボタン〕を短押しすると、電源が「入」になります。
- 電源 ON 状態で〔電源ボタン〕を長押しすると、電源が「切」になります。
- 電源 ON 状態になると指示計の表示部が点灯します。

運
転
の
し
か
た

取扱注意

- 電源 ON にするとき、計量器には袋キーパ以外の物は載せないでください。
- 作業を開始する 10 分前から電源を入れておいてください。



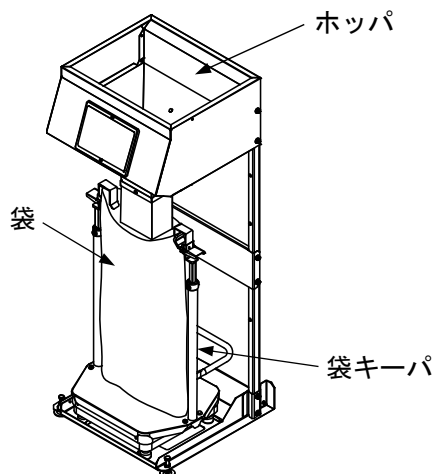
2) 〔袋数クリアボタン〕を長押しして、累積の袋数をリセットします。

- 累計の袋数をリセットせずに使用する場合は〔袋数クリアボタン〕は押す必要はありません。



3) 計量設定値を確認します。

- 計量設定値を変更する場合は、13ページ「1. 自動計量設定値の設定方法」を参照してください。



4) ホッパに原料を供給します。

5) 袋キーパに袋をセットします。

- 計量シャッタが自動で開く条件を満たしている場合、袋セット完了後、計量シャッタが開きます。
- ホッパに原料が溜まっている場合、原料が排出されます。

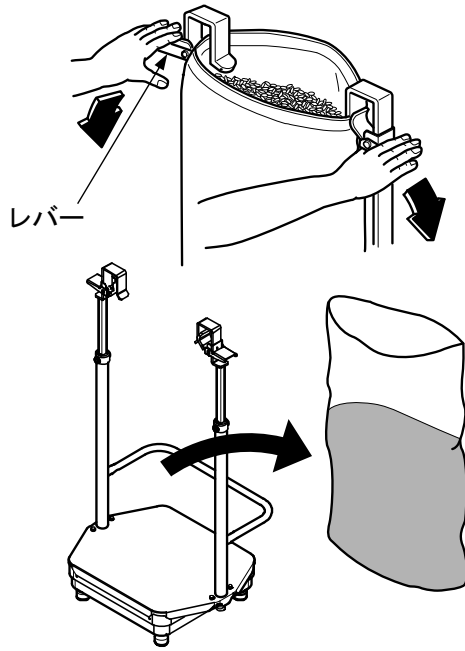
取扱注意

- 袋をセットする前に、計量値表示部が「0.00」になっていることを必ず確認してください。「0.00」になっていないときは、[ゼロ点調整ボタン]を押してください。
- 袋をセットする際は、袋が精品排出口に接触しないようにしてください。

6) 自動計量が始まります。

- 計量中、進捗状態に応じて計量インジケータが増加します。
- 「計量設定値-2 kg」になると、「まもなく計量完了」が表示されます。
- 「計量完了値-1.2 kg」になると計量シャッタが1段階閉じ、精品がゆっくり排出されるようになります。

■■■■■ まもなく 計量完了



7) 計量完了後、袋キーパから袋を取り外します。

- 計量が完了すると「計量完了」が表示され、ブザー音が鳴ります。
- 袋キーパのレバーを下に下げると、袋を外すことができます。

8) 連続運転の場合は、5) ～7) を繰り返してください。

取扱注意

- 計量設定値と計量値の間に差があっても、30g 以内であれば計量器の精度範囲内なので問題ありません。希望の計量値にしたい場合は、計量設定値を調整してください。
- 指示計のボタンは、やさしく押してください。
- 計量器は精密機器です。重量物を落下させて、強い衝撃を与えたり、水を掛けたりしないでください。
- 最低処理能力未満で使用すると、計量誤差が生じる可能性があります。

2. 排出を緊急停止する方法



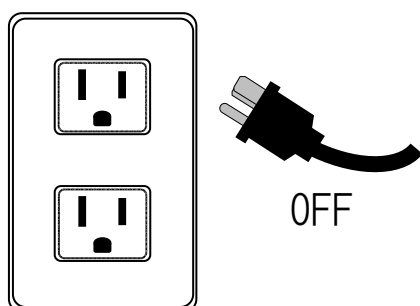
1) [電源ボタン] を短押しします。

- 計量シャッタを強制的に閉めることができます。

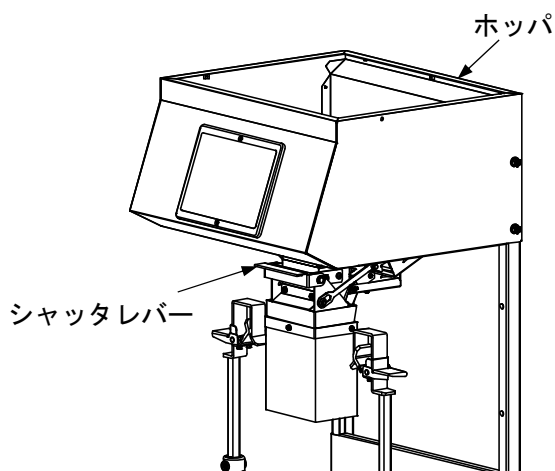
保管

取扱注意

- 作業を終了し、保管する前に、必ずホッパ内部の掃除をしてください。
- できるだけ湿気のない、風通しの良い所に保管してください。
- 雷で計量器が故障することがあります。必ず電源コネクタを抜いて保管してください。

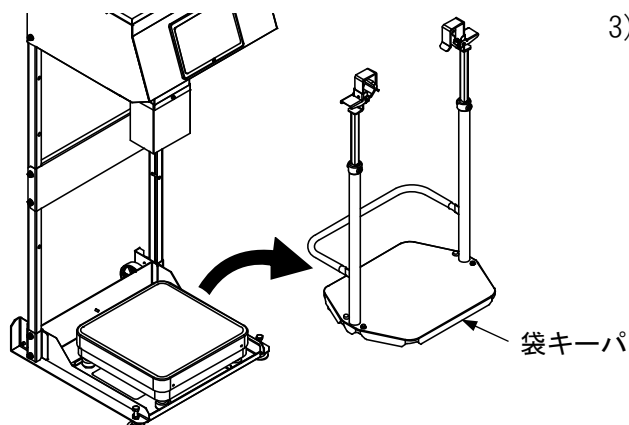


1) 電源コネクタを抜きます。



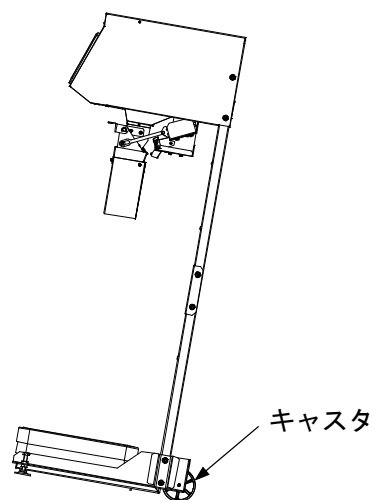
2) ホッパ内部の清掃を行います。

- シャッターレバーを下げてホッパ内の残留を清掃します。
- 必要に応じてブローガンまたは掃除機を使用して清掃してください。



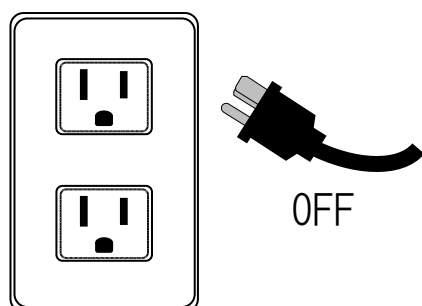
3) 袋キープを取り外します。

- 蝶ナットを緩め、袋キープのアース線を外します。
- 計量器は本体に載せたままにしてください。



4) 機械を保管場所へ移動します。

- 機械を後ろに傾けることにより、キャスタで移動させることができます。
- 3)で外した袋キーパは保管場所で再度組み付けてください。



- 機械を保管するときは、電源コネクタを抜いたまま保管してください。
- 保管場所は、雨などが掛からず乾燥した平らな所にしてください。

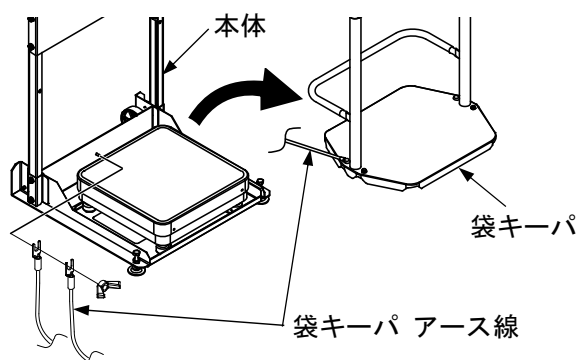
調整（スパン調整）

1. スパン調整

スパン調整とは、計量器の測定精度を適正な状態に調整する作業です。計量器に載せた重量物の重さと指示計に表示される計量値が合致しない場合、スパン調整することにより、計量値を修正することができます。（30 kg 分銅が必要です。事前に準備してください）

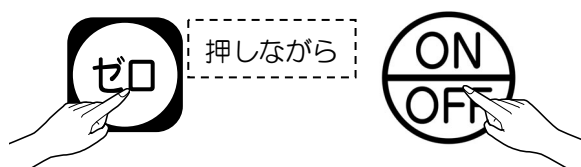
取扱注意

- スパン調整を実施する場合は、お買い上げの販売店または J A にご連絡ください。



1) 計量器から袋キーパを取り外します。

- 袋キーパのアース線を本体から取り外します。
- 以降の作業は必ず袋キーパを外した状態で実施してください。



2) 電源 OFF の状態で、[ゼロ点調整ボタン] を押しながら、[電源ボタン] を押します。

- 左図の表示で指示計の電源が入ります。

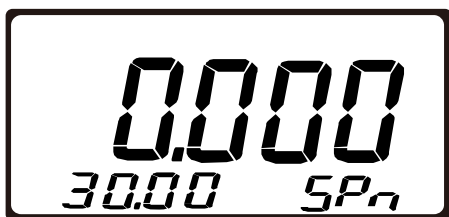
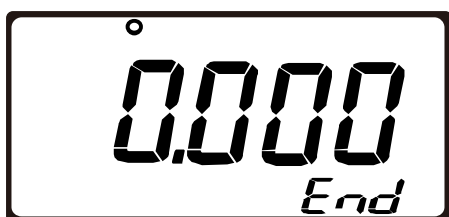


3) [1kg]、[100g]、[20g] の計量設定ボタンを押して、計量設定値を「0124」に変更します。

4) [袋数クリアボタン] を押します。

- 画面の表示が変わります。（左図）





5) 「CAL 1」と表示された状態で、[ゼロ点調整ボタン] を押します。

- 画面の表示が変わります。(左図)
- 左図の計量値「0.005」は表示例です。計量値の表示は変動します。

6) 計量器の上に何も載っていないことを確認します。

- 計量器の上に物がある場合は、取り除いてください。

7) 計量値が安定したら、[ゼロ点調整ボタン] を長押しします。

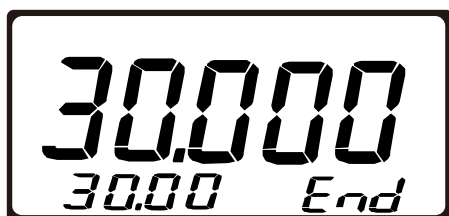
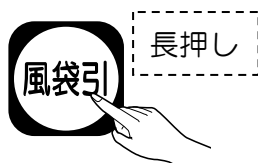
- 「CLO」の表示が「End」に変わります。

8) [袋数クリアボタン] を押します。

- 画面の表示が変わります。(左図)

9) [風袋引きボタン] を押します。

- 画面の表示が変わります。(左図)



10) 「袋数クリアボタン」を押します。

- 計量設定値に表示された「30.00」が点滅から点灯に変わります。

11) 30 kg 分の分銅を計量器に載せます。

- 計量値に重量が表示されます。
- 計量値が「30.000」と表示されていなくても問題ありません。

12) 計量値が安定したら、「風袋引ボタン」を長押しします。

- 「SPn」の表示が「End」に変わります。

13) 「袋数クリアボタン」を押します。

- 画面の表示が変わります。(左図)

14) 「電源ボタン」を長押しします。

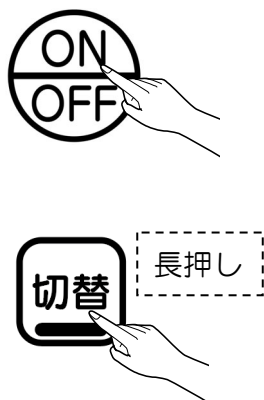
- 指示計の電源が OFF になります。
- 指示計の電源を切るときは電源コネクタを抜いて電源を切らないでください。
- 1) で外した袋キーパを再度組み付けます。

取扱注意

- スパン調整完了後は「電源ボタン」を長押しして電源を切ってください。電源コネクタを抜いて電源を切ると、スパン調整のデータが保存されません。

2. ブザー音の設定

ブザー音の設定を行います。指示計の操作音と計量完了音の音量を変更することができます。

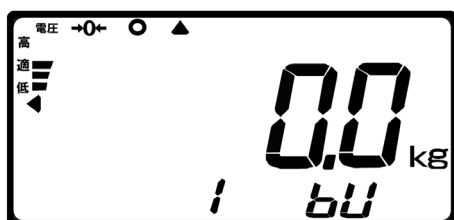
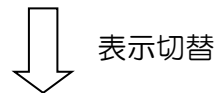
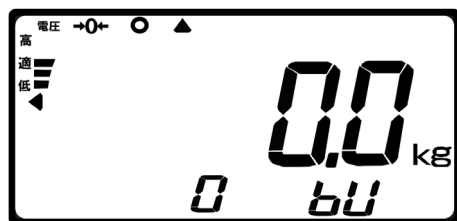
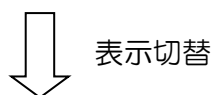
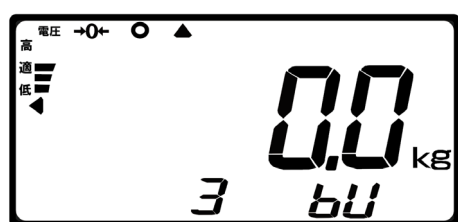


- 1) 電源コネクタを接続します。
- 2) 指示計の〔電源ボタン〕を押し、電源 ON にします。

- 3) ブザー音を調整します。

- (a) 電源ONの状態、指示計の〔表示切替ボタン〕を長押しします。

- ブザー音設定画面になります。
- 計量設定値の表示箇所に、現在の設定値が表示されます。



- (b) 〔表示切替ボタン〕を押して、設定値を変更します。

【0】：操作音：小 計量完了音：オフ

【1】：操作音：小 計量完了音：小

【2】：操作音：中 計量完了音：中

【3】：操作音：大 計量完了音：大

【初期値：3】

- (c) ブザーの設定を確定します。

- 3 秒間、指示計のいずれのボタンも押さないでください。設定が確定します。
- 設定値が点滅している間に電源を OFF にしないでください。設定が確定しません。
- 設定が確定すると、表示が自動計量設定値に戻ります。

困ったときの対処のしかた

1. 異常・故障の場合の処置方法



- 異常・故障の処置を行う前に、特に指示するときを除いて、電源コネクタを抜いてください。
- 本書の指示に従ったにもかかわらず、異常・故障が直らない場合はお買い上げの販売店またはJ Aに連絡してください。

症 状	原 因	処 置 方 法
F F F F F を表示する	計量器のひょう量(計量可能範囲)を超えた計量物が載っている	ひょう量の範囲内で使用してください。 ● 計量器のひょう量は最大で35 kgです。
E E E E E を表示する	計量器のひょう量(計量可能範囲)を超えた計量物が載っている	ひょう量の範囲内で使用してください。 ● 計量器のひょう量は最大で35 kgです。
	ロードセルケーブルの取付不良または断線	ロードセルケーブルが正しく接続されているか確認してください。 お買い上げの販売店またはJ Aに連絡してください。
-E E E E E を表示する	ロードセルケーブルの取付不良または断線	ロードセルケーブルが正しく接続されているか確認してください。 お買い上げの販売店またはJ Aに連絡してください。
C C C C C を表示する	計量物(20 kg 以上のもの)を載せて電源を ON にした	電源を ON する場合は、袋キーパ以外のものは載せないでください。(16ページ参照)
	ロードセルケーブルの取付不良または断線	ロードセルケーブルが正しく接続されているか確認してください。 お買い上げの販売店またはJ Aに連絡してください。
E L P を表示する	電源電圧の異常(85V 未満または 110V 超)	電源電圧を確認してください。
r t c を表示する	基板のボタン電池の電池切れ	指示計内の基板に搭載されているボタン電池(CR2032)を交換してください。

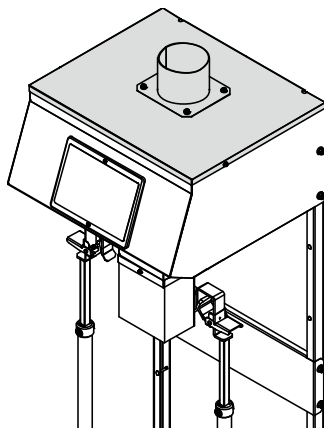
症 状	原 因	処 置 方 法
Error を表示する	基板エラー	お買い上げの販売店またはJAに連絡してください。
計量誤差が 出る	セットした袋と本体が 接触している	袋が本体（精品排出口）に接触しないようにセットしてください。
	ロードセルケーブルが 計量器に接触している	余ったロードセルケーブルが計量器に接触しないように してください
	計量設定値の決め方が 間違っている	正しく設定してください。 (13ページ参照)
	計量器に紙袋をセット した状態で電源ONに した	電源ONにする前に袋をセットしないでください。 計量器には袋キーパのみを載せた状態で電源ONしてくだ さい。
	計量器がガタついてい る	計量器のアジャストボルトを調整して、ガタつきをなくし てください。(12ページ参照)
	柔らかい地面に本体を 設置している	本体はコンクリートなどの固い地面に据え付けてくださ い。
指示計が何 も表示しな い	電源コネクタを差し込 んでいない	電源コネクタを確実に差し込んでください。
	指示計内のヒューズが 切れている	指示計内の基板にあるヒューズ（5A）を交換してくださ い。ヒューズサイズ：φ6.4×30 mm ※ 基板上にヒューズは2本あります。
計量シャッ タが自動で 開かない	計量シャッタが自動で 開く条件を満たしてい ない	計量シャッタが自動で開く条件を満たしていることを確 認してください。 (15ページ参照)
0.00の まま表示が 変わらない	計量器からロードセル ケーブルが外れている	計量器にロードセルケーブルを確実に差し込んでくださ い。(12ページ参照)
	指示計からロードセル ケーブルが外れている	指示計にロードセルケーブルを確実に差し込んでくださ い。(11ページ参照)
	ロードセルケーブルが 断線している	ロードセルケーブルを交換してください。 お買い上げの販売店またはJAに連絡してください。

オプション部品

■ホッパカバー（プラスホース接続用）

（注文コード：(1)TSU30AAAZ50）

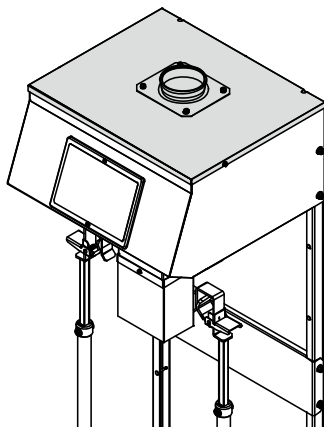
- ホッパに専用のカバーを取り付けることができます。
- 4 インチのホースを接続することができます。



■ホッパカバー（4 インチカールフランジ仕様）

（注文コード：(1)TSU30AAAZ51）

- ホッパに専用のカバーを取り付けることができます。
- ホッパに 4 インチの配管を接続する際に使用します。
- カールフランジ仕様です。



仕様

表 4 仕様一覧表

名 称	パックスケール
型 式	TSU30A
区 分	—
処理能力 (kg/h) ※1	400～4000 (最大)
機体寸法 (mm)	W:560×D:560×H:1,430
計量方式	電子秤 (ロードセル方式)
ひょう量 (kg)	35
目 量 (kg)	0.02
自動計量設定範囲 (kg)	5.00～35.00 (20g 間隔)
計量実精度 (g)	±30
定格電圧 (V)	単相 100
機 体 質 量 (kg)	40 (計量器、袋キーパ含む)
処理可能な原料名	玄米、麦

注1. 処理能力 400 kg/h 未満で使用すると、計量誤差が発生する可能性があります。

注2. 処理能力は、地域、原料条件、使用条件によって仕様と異なる場合があります。

注3. 本計量器は、米麦の供出または、個人的な使用以外の取引・証明には使用できません。

機体寸法

単位：mm

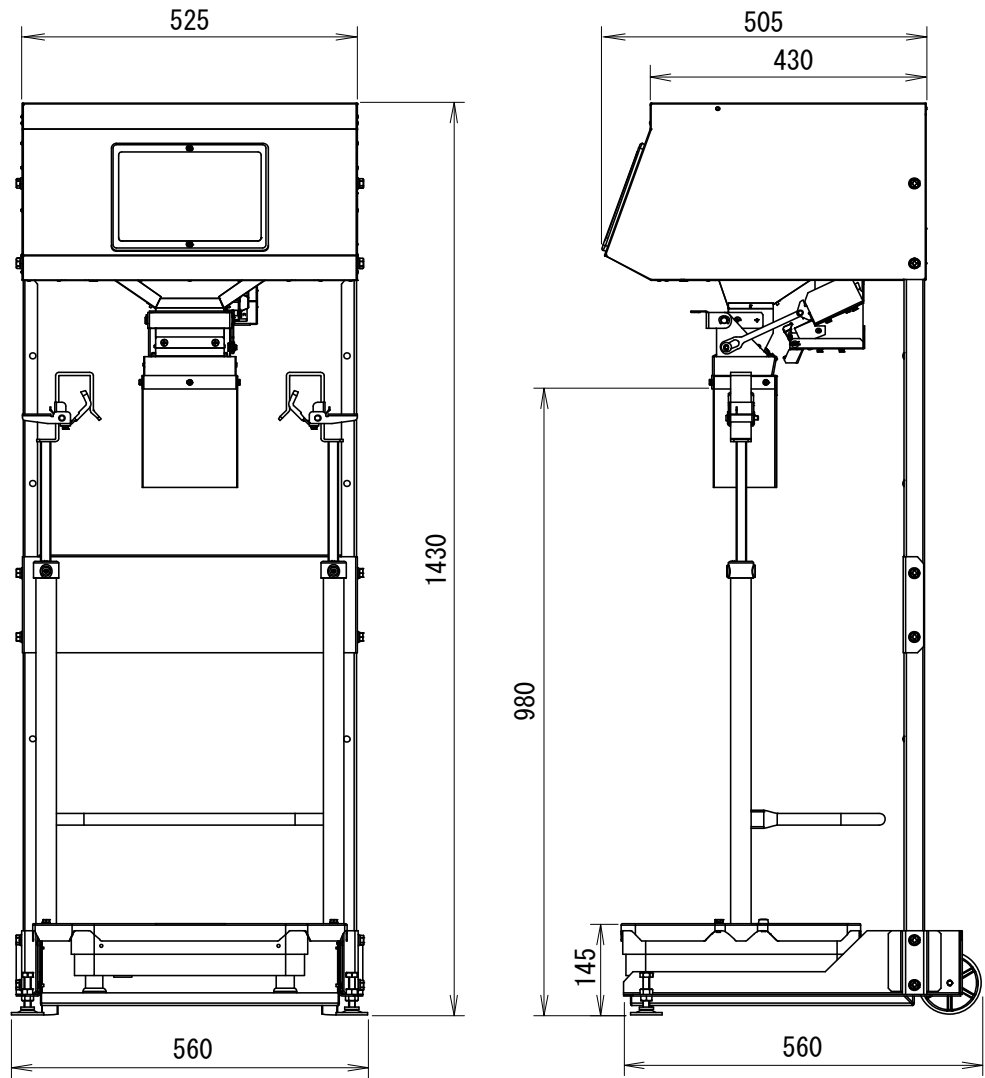


図 5 機体寸法図

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはＪＡまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「納入日、販売店名・ＪＡ」などの記入をお確かめの上、販売店またはＪＡからお受け取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、納入日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- 本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼されるときには

- 「困ったときの対処のしかた」（25～26ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはＪＡにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

[XE]

[illegible]

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、以下の窓口へご連絡ください。

〔１〕販売店・ＪＡ（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●販売店・ＪＡに連絡がつかない場合は、最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区中央３条３丁目６-４４	011（812）3666	011（820）2007	003-0013
北上営業所／岩手県北上市川岸１丁目１６-１（サタケ東北内）	0197（64）0111	0197（61）0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地１２１-２	018（839）0891	018（889）6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目西町７-３３	022（287）2733	022（390）1017	984-0011
小山営業所／栃木県小山市駅南町４丁目３１	0285（27）5060	0285（31）1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室１１５３	04（7132）1181	04（7140）8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟３丁目８-１６	025（287）0177	025（257）1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見１丁目２-２８	0586（73）2177	0586（26）1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵衛町７９３-１	076（277）2085	076（277）8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町２丁目５-１	06（6867）6015	06（6867）6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町２５-２９ アソカビル３Ｆ	082（420）8575	082（420）0010	739-0043
松山営業所／愛媛県伊予市市場４８５-１	089（982）6990	089（997）3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分１丁目７-１	092（921）6111	092（920）1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区西原３丁目３-２９	096（382）2727	096（386）2007	861-8029

〔３〕製造元 株式会社

広島本社／広島県東広島市西条西本町２-３０ 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡がつかない場合は、以下の窓口へご連絡ください。

■お客様サポートセンター	TEL：082（420）8543	FAX：082（420）0009
■本社営業窓口〔調製機事業本部〕	TEL：082（420）8541	FAX：082（420）0005
■大代表	TEL：082（420）0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<https://www.satake-japan.co.jp>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082 (420) 0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03 (3253) 3111 (代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本
□サタケグループ／
株式会社サタケ、サタケ東北株式会社、サタケ豊栄株式会社、
サタケグレインマシナリー株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、
SATAKE ASIA CO.,LTD.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
佐竹機械（蘇州）有限公司、佐竹軟件技術（蘇州）有限公司

Copyright (C) 2025 Satake Corporation. All rights reserved.

I2TSU30AAAZA-X2507D-D